

国内クレジット認証委員会御中

## 実績確認概要書

平成 22 年 11 月 17 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	前橋バラ組合における重油ボイラーの電気式高効率ヒートポンプへの転換による省エネ事業
承認番号	JCDM-PJ0086
排出削減事業者名	前橋バラ組合
排出削減共同実施事業者名	東京電力株式会社 (その他関連事業者名：三菱電機株式会社、 三菱電機クレジット株式会社)
事業実施場所	前橋バラ組合 (群馬県前橋市富田町 1670-1)
事業の概要	温室用の重油ボイラーを電気式高効率ヒートポンプに転換することにより、重油使用量を削減し、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	729tCO2/年 (事業実施期間合計 2,828tCO2)
国内クレジット 認証期間	開始日 2009年10月7日 終了予定日 2013年3月31日
排出削減方法論	方法論番号 004 空調設備の更新

### 2. 本実績確認の対象期間

2009年10月7日～2010年6月10日 (第1回目実績報告)

### 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	430tCO <sub>2</sub> (2009年10月7日～2010年6月10日)
-------	---

### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) 承認排出削減事業計画通りに電気式ヒートポンプが導入されていることを、視察の際に確認した。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、当該期間に渡るヒートポンプ電力使用量の計測データの確認や関係者への質問により確認している。 3) 事業開始日については、暖房用途へのヒートポンプの運用開始を予定日10月7日より遅くしたため、より正確な開始日として暖房運転開始日の10月7日に事業開始日を修正していることを確認した。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法については、承認事業計画に従い、自動計測したハウス全体の電力量から補機電力量を控除してヒートポンプの電力使用量を把握し、ハウスの使用状況や暖房期間の確認についてもQA/QC通りに実施されていることを、根拠資料の確認や関係者への質問により確認した。 2) 活動量の正確性については、エネルギー使用量の計測値の記録・保存が、メモリー機能付電力量ユニットにて自動計測することにより正確に把握、集計されていることを、データ集計表の確認や関係者への質問により確認し

	<p>た。</p> <p>3) 排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、排出係数等が排出削減方法論（別表）及び承認排出削減事業計画通りであることを確認している。</p> <p>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</p> <p>5) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2009 年 10 月 7 日～2010 年 6 月 10 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。</p>

## 5. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 70.7k1 であることを確認した。